

第二世代バイオディーゼル燃料実用化共同プロジェクトの実施について

記者各位

第二世代バイオディーゼル燃料実用化共同プロジェクトの実施について

東京都、新日本石油株式会社(社長:西尾 進路、以下新日本石油)、トヨタ自動車株式会社(社長:渡辺 捷昭、以下トヨタ自動車)、日野自動車株式会社(社長:近藤 詔治、以下日野自動車)は、最新技術を活用した「第二世代バイオディーゼル燃料」の実用化に向けた共同プロジェクトを始めることとなりましたのでお知らせします。

東京都は、1月26日にカーボンマイナス都市づくり推進本部を設置し、民間企業や都民の皆さんとともに大幅な二酸化炭素排出削減を目指す取組みである「カーボンマイナス東京10年プロジェクト」を開始することといたしました。本プロジェクトは、先進的な企業とともに進める温暖化対策プロジェクトの第一弾として、東京都・新日本石油・トヨタ自動車・日野自動車共同で実施するものです。

新日本石油とトヨタ自動車は、平成17(2005)年より、バイオ原料油の水素化処理技術を共同で開発してまいりました。本プロジェクトでは、新日本石油が試験製造したバイオ原料油の水素化処理油(Bio Hydrofined Diesel:BHD)について、トヨタ自動車・日野自動車がディーゼル燃料としての優れた環境性能を確認します。また、平成19(2007)年度中を目処に、都営バスを使ってバイオ原料油の水素化処理油(BHD)の温暖化対策としての有効性を示すデモ走行を実施いたします。あわせて、国内における供給体制に関する検討も進めてまいります。

記

1. プロジェクト名

第二世代バイオディーゼル燃料実用化共同プロジェクト

2. プロジェクト概要

揮発油等の品質の確保等に関する法律の上限である5%を超えて軽油に混ぜて使用することが出来る第二世代バイオディーゼル燃料の実用化を目指す次の取組みを行う。

- (1) 第二世代バイオディーゼル燃料(BHD)の環境性能の確認
- (2) 都営バスでのデモ走行
- (3) 国内での供給体制の検討

※ 都では、この実用化プロジェクトと同時に、増加の著しい運輸部門から排出される二酸化炭素削減を率先して進めるため、第二世代の実用化を待たずに今すぐ使える第一世代バイオディーゼル燃料(FAME)を5%混入した軽油を、平成19年度から都営バスで導入いたします。この率先導入に関する供給事業者の公募については近日中にお知らせいたします。

<本件に関するお問い合わせ先>

東京都 環境局 総務部 企画調整課	03-5388-3437
東京都 交通局 自動車部 車両課	03-5320-6128
新日本石油株式会社 広報部 広報グループ	03-3502-1124
トヨタ自動車株式会社 広報部	03-3817-9111-6
日野自動車株式会社 総合企画部 広報渉外室	03-5419-9320

以上

 『第二世代バイオディーゼル(BHD)実用化共同プロジェクト資料』(PDF:101.5KB)

 『参考資料』(PDF:197.5KB)

 『事業図』(PDF:122.7KB)